倶多楽の火山活動解説資料（平成25年４月）

札 幌 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図１-①、図２）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図１-②）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図１-③）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

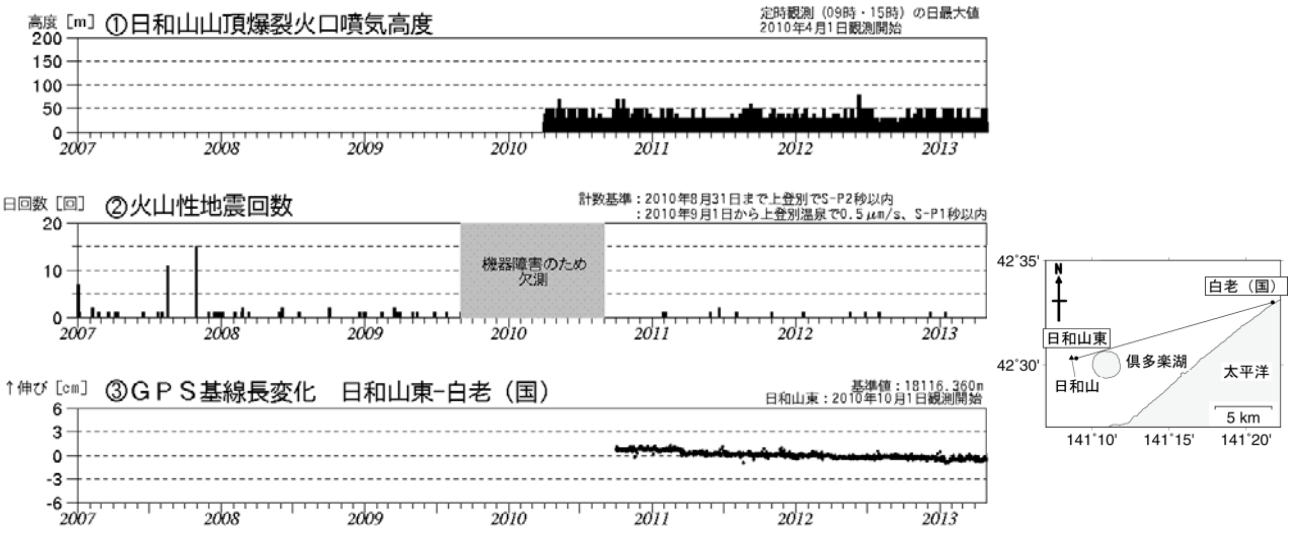

図１※ 倶多楽 火山活動経過図（2007年１月～2013年４月）、GPS連続観測点配置図
・③のGPS基線は右図に対応しています
・（国）：国土地理院

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(http://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html)でも閲覧することができます。

※資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成25年５月分）は平成25年６月10日に発表する予定です。

図２　倶多楽　日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況
（４月21日、414m山遠望カメラによる）

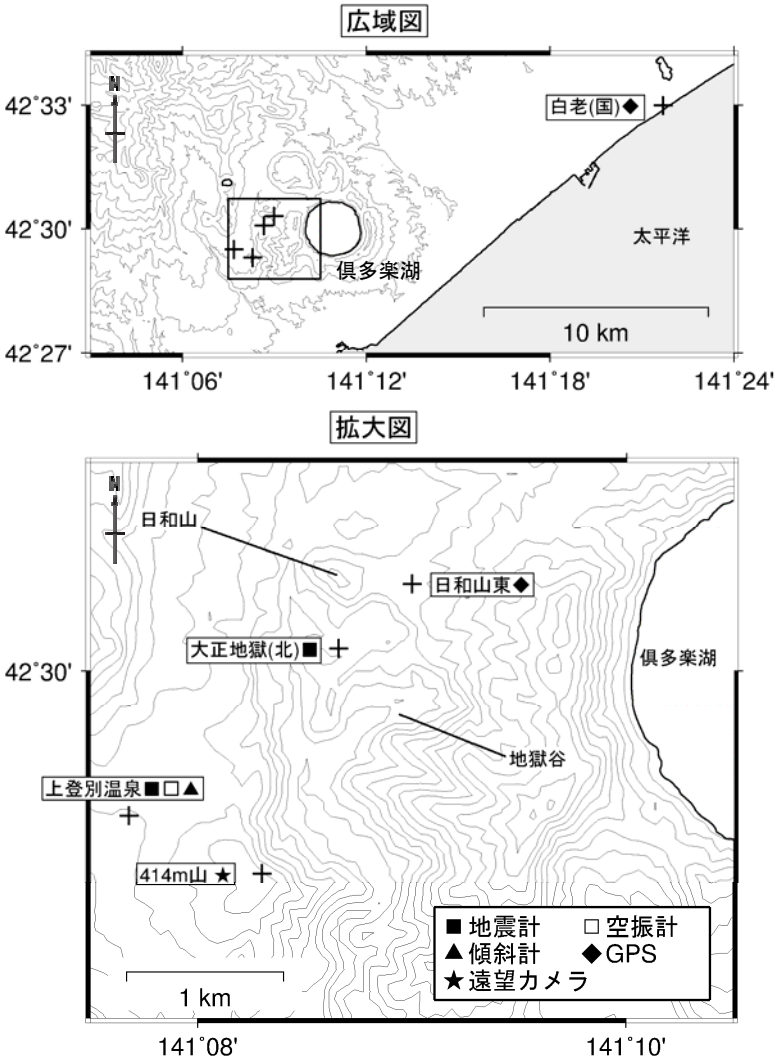

図３　倶多楽　観測点配置図
広域図内の□は拡大図の範囲を示します
＋印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
（国）：国土地理院
（北）：北海道大学